

令和3年度 伊那市立東部中学校部活動の方針

目標

- 有志参加による教育活動の一環として行う。
- 学校運営、日課及び生徒の健康管理上可能な範囲で活動できるようにする。
- 仲間と協力し、切磋琢磨することを通して、技能向上と豊かな人間性の育成を図る。
- 各種大会への参加を通して、活動の成果を確認し、達成感、成就感が得られるようにする。
- 部活動を通して、日常生活の充実、向上を図る。

本校の運営方針

- 活動時間、休養日の設定、朝の活動について
 - ・平日の活動時間は午後の2時間以内とし、朝の活動は通年実施しない。(2年目)
 - ・水曜日の放課後は活動を行わない。(ただし、冬期間は希望する部の活動を認める。)
 - ・テスト前3日間は、活動を行わない。
 - ・生徒の健康面への配慮として、平日は少なくとも1日を休息日として設定する。
 - ・土日の活動については、どちらか1日は休養日とし、活動時間は3時間を基本とする。大会間近で両日とも活動した場合は、さらに1日の休息日を他の週に設けるようにし、週末の活動が常態化しないようにする。
- 活動計画の策定
 - ・年間計画および月の活動計画を作成し、部員、保護者に活動予定を分かりやすく伝える。
 - ・年間計画に各部ごと部活動リフレッシュウイーク(2週間)を設置する。(2年目)
- 長期休業中の活動方針
 - ・長期休業の活動日は、休日総数の半数を超えない回数とする。
 - ・平日の活動を原則とし、家庭、地域で子どもを育てるという長期休業の良さを生かす。
- 他校との練習試合、大会等への参加、
 - ・参加する練習試合、大会・コンクールについては、その時期や間隔に留意し、生徒の健康面や家庭学習、家族との生活等も大切にできるようにする。
- 部活動運営に係る協議の場の設営
 - ・部活動運営委員会、部活動保護者会により、運営の見直しや改善を行っていく。

指導体制の工夫

- 各部活に複数の顧問を配置し、生徒の安全面の管理徹底、交代制による負担軽減を図る。
- 女子生徒が所属する部活には女性職員を配置するなど相談しやすい環境作りをし、生徒の悩みや活動上の課題の解決に対応できるようにする。
- 部活動指導員の活用
 - ・3名の部活動指導員を任用し、生徒に対し専門性の高い指導を行っていただく。(野球、男子バレーボール、ソフトボール) また、教職員の働き方改革や将来的な「休日の部活動の段階的な地域移行」につなげていくために、引き続き地域の指導者とも連携し、部活動指導にあたっていただく。

その他

- ・保護者の経済的負担の軽減についても留意する。
- ・保護者会での説明や詳細な家庭通知を通して、部活動への理解と協力を得るようにする。